

持啓

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。

皆様方におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

問題解決コース受講の際は、私共を支えてください本当にありがとうございました。

早くお札をと思いつつ、早数ヶ月が流れ、ご挨拶が遅れましたことお許しください。

コース受講では、1年3ヶ月に渡りご指導いただき家庭教育を教えて下さいましたこと、バ"から感謝申し上げます。

思い起こせば、支援をお願いしたのは、現在3年になる息子が1年生の3学期、2月の頃でした。入学と同時に行き渋るようになりました。

幼稚園ではそのような傾向はなく、活発に明るく過ごしていたので、何故行き渋るのか当時は全く分かりませんでした。

学校の担任の先生からは、「すぐに慣れますよ。」と言われ、毎朝お電話下さったりと、親身にご対応頂きましたが、状態が良くはなりませんでした。

「とにかく学校へ連れて来てください」「お母さんが諦めてはダメです」と言われ、対応に困りました。

無理やり引きずり連れて行ったり、無理やり起しそうな顔を洗わせたりという対応でした。今思えば、意味のないことをしていました。この頃の事は思い返すととても辛いです。

2学期になつても行き渋りは直りませんでした。この辺りから不登校の事を色々と調べ始め水野先生の書籍「転んでも立ち上がる子はあなたが育てる」のことを知りました。過保護過干渉、先回り発言等を控えることで年相応の自立が出来る方法が書かれており納得いたしました。さそく実践し始めましたが、なかなかうまくいかず■■■はさらに悪化、行けない日が出てきました。10月～12月は五月雨登校となつておらず、この時期はネガティブな発言が多く、■■■自身も辛い日々だったと思います。

そして年が明け3学期。

やはり行けませんでした。その時点で、家庭内だけでは解決は難しいと感じ、支援をお願いしようと決意いたしました。

まずは家庭教育支援コースからスタートし、山下先生にご指導いただくことになりました。

教えて下さる対応をすることで、目に見えて [REDACTED] の様子が変わっていきました。

荒れた行動が減り、反発も少くなりと、まさに「親が変われば子も変わる」を体感出来た時期でした。 でもすでに不登校状態となっていた為、復学は家庭内対応だけでは難しく、その後問題解決コースに切り替え、佐藤先生にご指導いただきました。

そこから、辻先生方に訪問カウンセリングを始めて頂き、6月に佐藤先生による登校刺激やその他色々な対応をして頂き、2014年7月1日から復学させて頂きました。

この時期は、私もまだしっかりしておらず、佐藤先生には、電話カウンセリングや家庭ノートでのご指導等、本当にお世話になりました。

アドバイス下さり、また励まして頂けたお陰で色々な事を乗り越えて来れたと思います。
貴重な体験だと感じています。

支援卒業後の様子ですが、しばらく順調だったものの、GW明けから崩れてしまい、行き渋りか出る日が出てきました。

その都度、佐藤先生ならどうおしゃるだろう?と考え、夫婦2人で対応しております。

1学期は3日の休み、2学期は1週間連続で休んでしまいましたが、乗り越えて学校に戻れました。1週間休んだ時には、家庭内ではとにかく冷ます対応を徹底して行いました。

金曜の夜に泣きながら、「[REDACTED]、来週から学校行く。学校行かんかったら、友達とも遊ばれへんし、テレビもゲームも出来ないし、パパとママとも遊びに行ったり出来ひんから…」との発言があり、翌週から再び登校することが出来ました。

この経験は、また親として少し自信を付けれたと思います。

[REDACTED]の気持ちを理解でき、イライラすることなく以前よりは冷静に対応出来るようになっていきます。私の気持ちや焦った感情を[REDACTED]にぶつけても意味がないことにも気付きました。

これからもまだまだ色々なことが起こると思うのですが、PCMを実践していくこと、また行き渋った時には、気持ちは受け止めつつ、でも学校を休むことは認められないという姿勢を

ぶれずにやっていくことが"大事なんだ"と思つて
おります。

ひき続キコースを受講し得たことをもとに、
しっかり家庭教育を進めていきたいと思ひます。
「転んでも立ち上がり、親が居なくても力強く
生きて行ける子を育てる」という目標をもつて
頑張ります。
本当に有難うございました。

末筆ながら、皆様のご健康とご活躍を
お祈りして、おれの言葉とさせていただきます。

敬具

平成27年10月14日